

# リハビリテーション法

[講義] 第2学年 後期 必修 1単位

《担当者名》○坂上 哲可(リハ) tsakaue@hoku-iryo-u.ac.jp 本家 寿洋(リハ) 朝日 まどか(リハ) 児玉 壮志(リハ)

## 【概要】

リハビリテーションの理念を学ぶ。また、身体的リハビリテーション、精神的リハビリテーションおよび地域リハビリテーションにおける代表的な疾患と機能障害の考え方、およびアプローチ方法について学ぶ。また、講義全体を通して看護師とリハビリテーション専門職の連携のあり方を考える。

## 【学修目標】

1. 各疾患や障がいの特徴を述べることができる。
2. 各疾患におけるリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を解釈できる。
3. 障害を抱えた人の社会復帰していくための支援方法を説明できる。
4. 地域リハビリテーションの理念と実施方法を関係づけることができる。

## 【学修内容】

| 回  | テーマ                     | 授業内容および学修課題                                  | 担当者 |
|----|-------------------------|----------------------------------------------|-----|
| 1  | リハビリテーションの理念            | リハビリテーションの理念とICFモデルを学ぶ。                      | 坂上  |
| 2  | 運動器系障害者に対するリハビリテーション    | 末梢神経損傷の病態とリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。          | 坂上  |
| 3  | 運動器系障害者に対するリハビリテーション    | 切断の病態とリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。              | 坂上  |
| 4  | 運動器系障害者に対するリハビリテーション    | 関節疾患に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。            | 坂上  |
| 5  | 中枢神経系障害者に対するリハビリテーション   | 中枢神経系の運動障害に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。      | 坂上  |
| 6  | 中枢神経系障害者に対するリハビリテーション   | 中枢神経系の高次脳機能障害に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。   | 坂上  |
| 7  | 中枢神経系障害者に対するリハビリテーション   | 中枢神経系の嚥下障害・排泄障害に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。 | 朝日  |
| 8  | 中枢神経系障害のリハビリテーション       | 脊髄損傷に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。            | 坂上  |
| 9  | 神経難病者に対するリハビリテーション      | 神経難病に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。            | 本家  |
| 10 | 精神障害者に対するリハビリテーション      | 統合失調症に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。           | 児玉  |
| 11 | 精神障害者に対するリハビリテーション      | うつ病に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。             | 児玉  |
| 12 | 地域リハビリテーション             | 地域におけるリハビリテーションと多職種との連携について学ぶ。               | 朝日  |
| 13 | 地域リハビリテーション             | 障害者が在宅生活を送るための環境整備について学ぶ。                    | 朝日  |
| 14 | がんのリハビリテーション            | 癌に対してのリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。              | 本家  |
| 15 | 呼吸器・循環器障害者に対するリハビリテーション | 閉鎖性肺疾患・虚血性心疾患に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。   | 坂上  |

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

定期試験100%

【教科書】

講義資料を配布する。

【参考書】

必要があれば、講義の中で適宜紹介する。

【学修の準備】

予習では各回のキーワードについて、参考書、関連書、インターネットなどで調べておくこと(2時間)。

復習では、講義で配布された資料を整理し、記憶の定着を図ること(2時間)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP4 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実務経験】

坂上哲可(作業療法士)、本家寿洋(作業療法士)、朝日まどか(作業療法士)、児玉壮志(作業療法士)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での臨床経験を活かして講義、指導する。